

【探究活動の実践記録】

「自然」 《四季、自然の命が巡る園庭の自然環境を2階のテラスの環境に繋ごう》
～虫が訪れる環境づくりとだんごむしの探求～

園庭では、「光」「風」「水」「土」「草・葉・花」「木の実」「虫」「鳥」などの自然物のことばと、生き物の命が織りなす出来事が、子どもたちの好奇心をくすぐり、探求、探索が盛んに行われています。

異年齢が集うこの場所では、人・もの・こととのつながり、関わりが日々生まれており、中でも「虫」を通した関わり、つながりは一年を通して活発です。3・4・5歳児クラスの虫好き仲間刺激を受けた1・2歳児クラスの子が、一緒に遊びながらだんご虫が好む場所を覚え、探し、見つけ、触れ、観察するようになったとき、入室時にだんご虫との別れを惜しみ、保育室に連れて行きたがる光景が増えました。

一緒に遊んでいた5歳児クラスの仲間が、担任保育者に、「テラスにだんごむしがいれば、いつでも会えるのにね」「だんごむしを連れていっても大丈夫だし」「2階のテラスに、園庭みたいな場所をつくればいいんじゃない」とつぶやいたことをきっかけに、保育者が、園全体での活動へと繋いでいくことを提案しました。だんごむしへの興味は、探求活動によって多様な楽しみ方と学びへと紡がれています。

《5月》

- ・園全体で園庭の自然環境に出あい直そう
- ・0・1・2歳児クラスが好きなこと、興味があることを探求しよう

草や花に興味を持って関わる0歳児クラス



みる



草・花・葉



嗅ぐ



木の实

見つける・収穫する・食べる



一緒にみずやり



育てる



ふれる



虫

サークルタイムで対話
(5歳児クラス)



何があるといいと思った？

だんごむしに興味を持った1・2・歳児クラスと5歳児クラスの虫博士の交流
だんごむしのさわり方や特徴を教えてもらったり、園庭のだんごむしが好む場所に連れて行ってもらったり、虫との関わりや生き物の不思議を学んでいきます。

《6月》虫かごハウス 森のおうち 作成プラン



イメージを模型で
形にしてみる



実がなる木は何がいいかなあ
みかんはアゲハが来るから
テラスにもあるといいね
ブルーベリーなら、小さい子も
食べられると思う。
ジャムとかジュースにもできるし！

草を植えよう 花もすきだね
ちょうちょも来るといいな
匂いを嗅いでいたから、いい匂いが
する花がいいと思うんだけど…
だんごむしは大好きだね～
食べられる実がなる木も植えたいね

★「もりのおうち」と名前を
つけて、自分たちのイメージを
業者さんにも伝え、相談します

《7月～8月～9月》虫かごハウス 「森のおうち」 施工

⇒ 園庭の自然環境を森のおうちに繋いでいきます



《土入れ、植え込みの時は、卒園児の小学生ボランティアも手伝いに来てくれました》
森と市庭さん、お花屋さんからアドバイスをいただきながら植物を植えていく

- 木材で作ったプランターに土を入れていく
「少しずつバケツに入れて運ぶとやりやすい」「大きいバケツは大人が運ぶね」
- 園庭に生えている植物（ふうせんかづら、よもぎ、小判草・バジルなど）を植える
- お花屋さんに相談して教えてもらった、感触を楽しめる葉っぱ（ラムズイヤー）や、色を楽しめる花（おみなえし、むらさきしきぶ）などを植えていく。
- 実のなる木（ブルーベリー）を植える

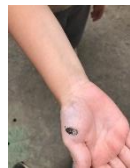
《虫かごハウス（もりのおうち）の様子》

- 早速、葉っぱや花の匂いに気づいて鼻を近づけたり、触れて確かめる姿や、雑草を摘んでままごとの食材にして遊んだり、植物にお水をあげてお世話を楽しむ姿が見られます。ブルーベリーの実が大きくなり、色づいていく変化を楽しみながら観察します。蝶などが訪れるようになり、いよいよ園庭の『だんごむし』にお引越してもらおうことにしました。3・4・5歳児クラスがを見つけ、5歳児クラスがもりのおうちに丁寧に運んでいきます。

ブルーベリーの実も熟し、5歳児が収穫してくれた実を、そのまま、ジュースで、ジャムにして、みんなで味わいました。



3・4・5歳児が園庭でだんごむしを見つけ、そっと運んでお引越しです。



テラスで、虫探し！（0・1・2歳児クラス）
「だんごむし いた！」「おーい だんごむし」

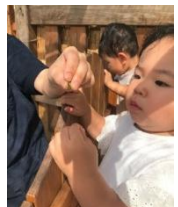
った！
てんとうむしを見つけた0歳児



園庭でせみを見つけた3歳児
森のお家にも来るかな…



プランターの中や隙間を探索して「虫いた！」
森のおうちには、てんとうむし、みつばち、バッタ、アオバハゴロモも来てくれるようになりました。4・5歳児に、せみはなぜ来ない…の問いが生まれ、探究が始まります。



＜ブルーベリーの収穫＞



バッタを見つめる
1歳児

5歳児が摘んでくれたブルーベリーを味わう 2歳児

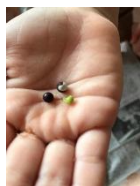
ブルーベリーの色を 色水で創り出して
探求する3歳児

《10月～11月》

植物の生長、季節が巡る中での変化、虫の生態系などを観察しながら探究していきます。

8月に植えたフウセンカズラが種を付けたので、4・5歳児クラスで何日かけて採取していきます。

その様子を0・1・2歳児クラスが興味を持って観察します



ふうせんの中に、これが入っていたんだよ」「ここにハートがあるでしょ」「春になってぺんぎん組(3歳児クラス)になったら蒔いてね」



《12月》

冬を迎え、虫の姿が見えなくなり、植物が枯れ始めました。

ブルーベリーの葉が紅葉し始め、とてもきれいな赤い葉に、子どもたちと大人たちで心を大いに動かされました。ブルーベリーが紅葉することをはじめて知った大人も多かったです。

特に2歳児クラスの子が赤い葉への興味を高め、木から落ちた葉っぱを集めて観察したり、お皿に入れてままごとの食材にしたり、きれいに並べてお店屋さんごっこの商品にして楽しんでいました。



「葉っぱ、赤くってきれい
「葉っぱ、くっつかないね…」



「いちごのケーキが
できたよ～」

《1～2月》

0・1・2歳児クラスの大人から、「テラスでだんごむしを探しても見つからないみたいなの…」と相談され、冬の園庭で、乳児、幼児ともに、ダンゴムシ探究が始まりました。



「だんごむしは、冬眠しないけど、冬の間は
落ち葉の下とか、石の下に隠れているんだよ」
「見えないけど、テラスにもいるよ」
「一緒に探してみよう」



「寝てるの…？
ごめんね」

園庭の草の中、プランターの下、芝生のシートをめくったところ…いました、いました、しっかりと丸まっているだんごむしや、じっと動かないだんごむし。マイクロスコープで見てみよう。

(めだかの引っ越し)



2歳児クラスが園庭のめだかの池に興味を持っている姿をみて、めだかの引っ越し計画を立てました。



めだかが泳ぐ姿を好奇心
いっぱいに見る0歳児

《3月》

まだまだ寒い日が多いですが、園庭もテラスの森のおうちも、少しずつ新芽が膨らみはじめています。森のおうちで採取したフウセンカズラの種は、園庭に蒔くことにしたため、卒園する5歳児クラスから年長組に進級する4歳児クラスに渡すことになりました。だんごむしも姿を見せ、だんごむしの姿の特徴や生態の探究が継続され、アトリエ活動では、観察した姿を土粘土で表現してみるなど、興味ある世界の遊び、学びが豊かになっています。

